

USiZEサービスアップデート

USiZEシェアードモデル

◆新サービス開発予定

◆セルフ運用機能アップデート状況

2021年5月18日

ソリューション事業グループ
クラウド基盤サービス部

基盤サービス事業本部
第四課



SCSK

夢ある未来を、共に創る。

ソリューション事業グループ 基盤サービス事業本部
クラウド基盤サービス部 第四課

担当役割：USiZEシェアードモデル；セルフ運用機能企画・開発
USiZEシェアードモデル；新規サービス開発
S-Cred+プラットフォーム；新規サービス開発、サービス運営・改善

➤ 中尾 義明（なかお よしあき）

- 担当業務：USiZEシェアードモデルの新規サービス企画・開発



➤ 和田 智紗都（わだ ちさと）

- 担当業務：USiZEシェアードモデルのセルフ運用機能開発



- ◆ **USiZEシェアードモデル サービス概要**

- ◆ **新サービス開発予定**
 - 仮称) USiZE Backup as a Service & 移行サービス
 - 仮称) DataDog監視サービス

- ◆ **セルフ運用機能アップデート状況**
 - 沿革
 - API機能提供
 - 2G→3G移行機能
 - 今後の機能強化予定

1. USiZEシェアードモデル サービス概要

従来型レガシーシステム（SoR）の受け皿になる、当社のマネージド型クラウドサービスです。

- ✓ **JDCCおよびFISC基準に準拠した当社データセンターに構築され、高可用性、高機密性を備えています。**
- ✓ **VMware社製ハイパーバイザをベースに、当社の基盤構築・運用ノウハウを融合した環境を廉価にご提供。**
- ✓ **セルフ運用機能を大幅拡充し、利便性の面を随時機能強化しています。**



充実のマネージドサービス

リソースだけでなくマネージドサービス提供によりお客様のコア業務シフトを実現。アウトソーシングにより攻めのIT投資へ。



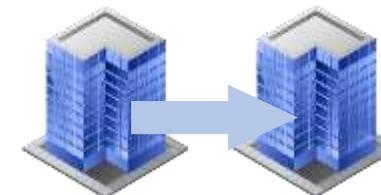
セルフ運用機能大幅拡充

すべての情報をポータルで確認&操作を実現。外部APIも順次公開。



DR個社別対応

新技術採用で災害対策（DR）を個社別に発動可能、システム全体の可用性を向上。



1. USiZEシェアードモデル サービス概要

<<導入事例>>

<< 2021.4.28掲載 >>

<https://www.scsk.jp/case/case-details/202104maeda/index.html>

SCSK SCSK株式会社

所在地・アクセス ニュースリリース お問い合わせ ENGLISH

サイト内検索

製品・サービス **お客様事例** イベント・セミナー 株主・投資家情報 採用情報 サステナビリティ 企業情報

Maeda Corporation

高品質・安心安全な基幹システム基盤の実現を目指し高可用性のマネージド型クラウドサービス「USiZE」を採用

現行システム環境を理解したSCSKがプロジェクトを強力に支援
データ仮想化機能の導入により、短時間でのバックアップも実現

建設業

前田建設工業株式会社 様

バックアップの課題を「USiZEシェアードモデル（3G）」で解決
プロジェクト推進・運用体制の実績でSCSKを選定

運用監視の面でも高い満足感
今後は運用の自動化も推進する計画

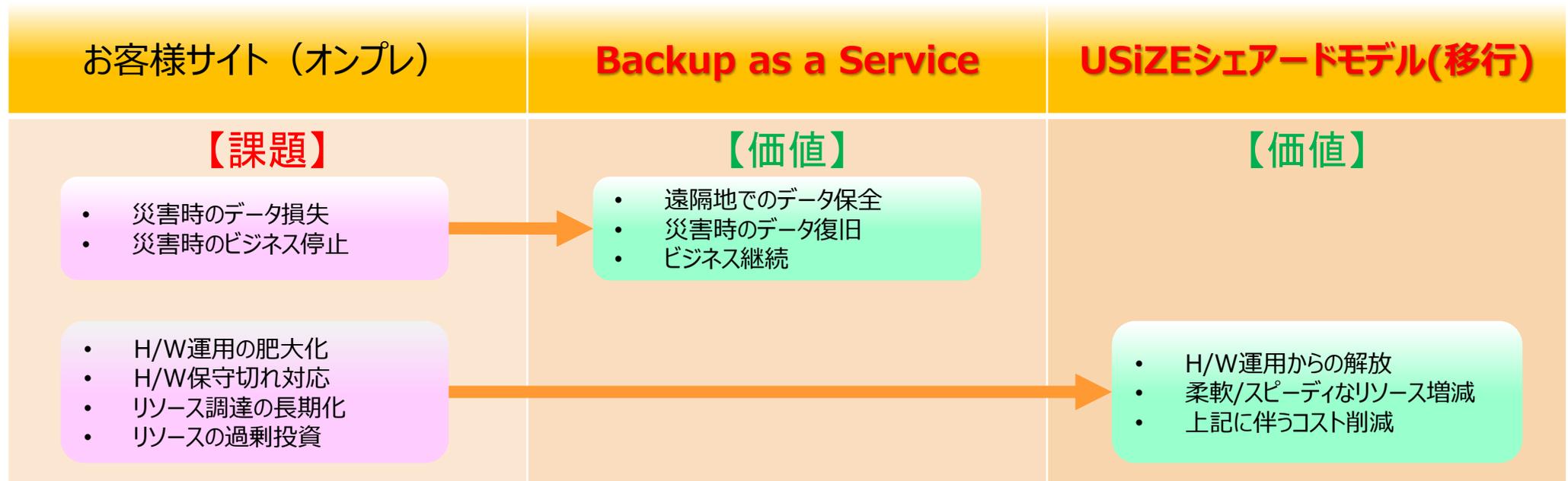
2. 仮称) USiZE Backup as a Service & 移行サービス

低コストで災害対策 & USiZEシェアードモデルへの簡単移行を実現します。

2021年度下期
リリース予定

想定サービス概要

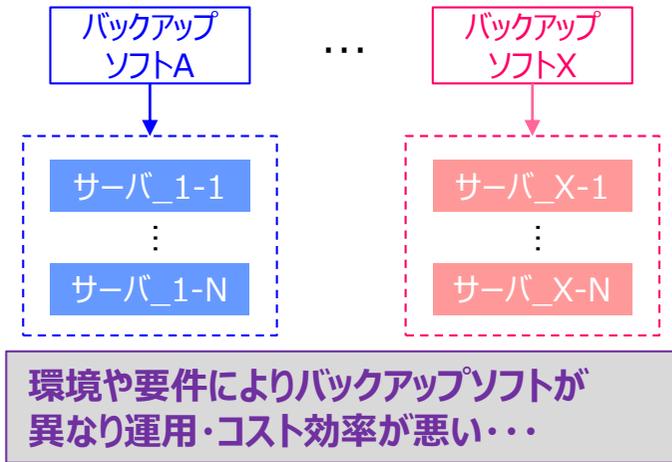
- ✓ お客様サイト(オンプレなど)のサーバデータを**クラウド環境上へバックアップ**保管します。
- ✓ 災害やセキュリティインシデント発生時のデータ保護や復旧環境としてUSiZEシェアードモデルを利用できます。
- ✓ 移行用途としても利用可能、USiZEシェアードモデルへの環境移行によってお客様は**運用負担軽減**や**リソース調達**の短縮化などを実現できます。



2. 仮称) USiZE Backup as a Service & 移行サービス

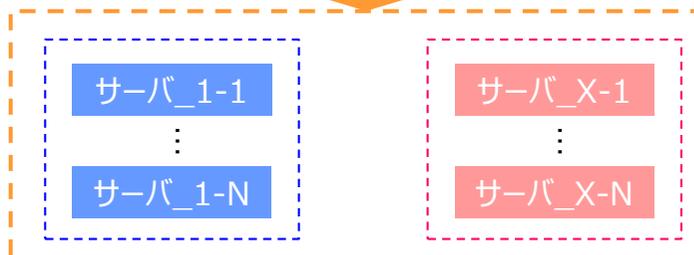
想定ユースケース

①バックアップソフトの統合



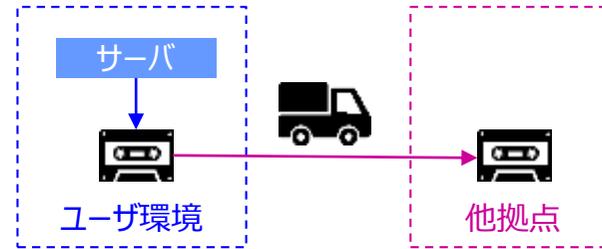
これを...

USiZE BaaS



- ✓ Web画面からBKUP環境を統合管理
- ✓ 統一したバックアップ方式をご提供 (DCハウジングをご利用のお客様)

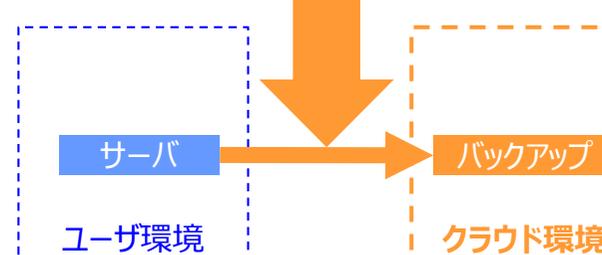
②テープ遠隔保管の置き換え



異なる拠点にテープバックアップを保管するため、テープ交換・配送運用が必要...

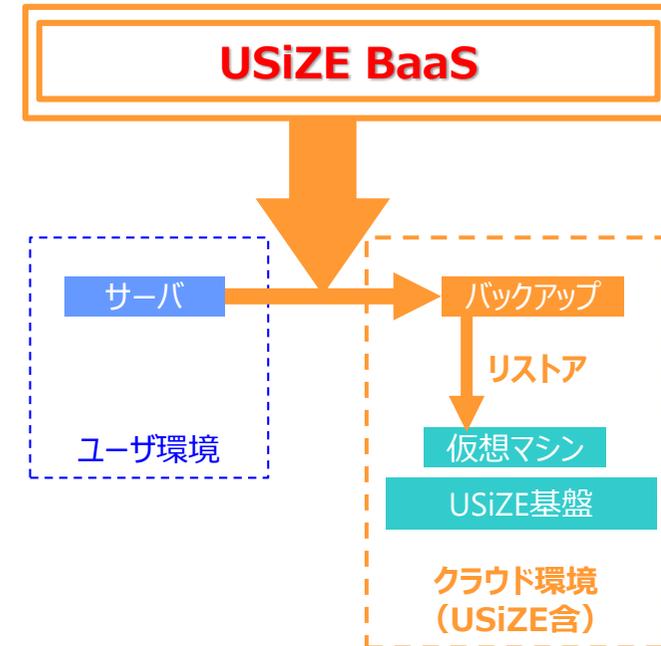
これを...

USiZE BaaS



- ✓ 直接BKUPデータをクラウド環境上へ転送できるため、テープ運用分のコストダウン、世代ルールの変更などが実現

③クラウド環境への移行



- ✓ 統一手段によるクラウド移行を提供
- ✓ BCPを実現しつつ、将来のクラウド移行を見据えたサービス利用が可能

3. 仮称) DataDog監視サービス

USiZEシェアードモデルでのマネージドサービスにより、お客様のコア業務シフトを実現します。

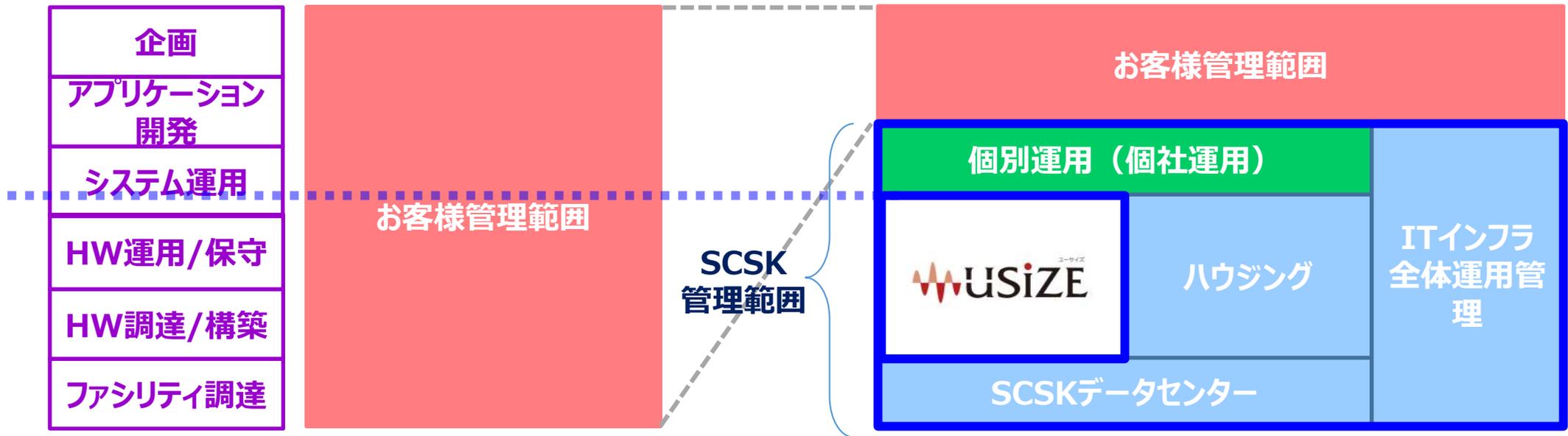
- ✓ お客様でのH/Wリソースの**調達／構築／運用／保守**の対応から**解放**されます。
- ✓ 各種オプションサービスのご利用により、**日々のシステム運用**の**負荷削減**にも寄与します。

従来

- 守りのIT投資
- お客様側でレガシーシステムをすべて管理
- 自社IT要員の増強が困難

マネージドサービス

- 攻めのIT投資
- SCSK側でレガシーシステムを管理
- 自社IT要員を攻めの投資へ(コア業務シフト)



3. 仮称) DataDog監視サービス

さらに、既存S-Cred+プラットフォームでも取り組んでいる運用自動化にも取り組みます。

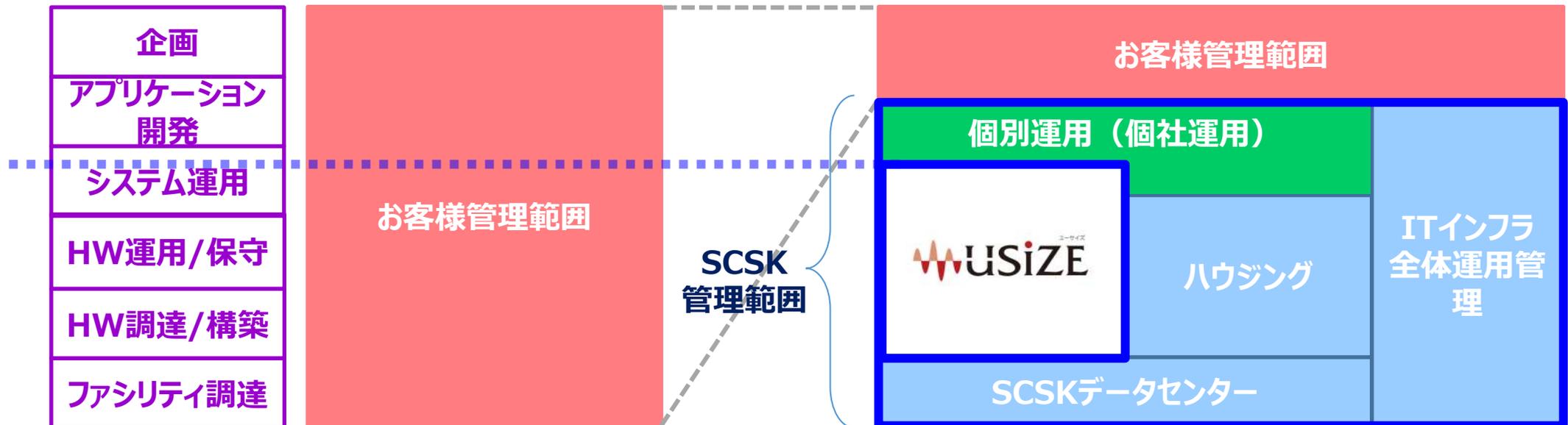
- ✓ 全社の「ものづくり革新 (S-Cred)」を支える基盤である **S-Cred+プラットフォーム** にて取り組んでいる**“運用自動化”**について、USIZEシェアードモデルにおいても取り組んでまいります。

従来

- 守りのIT投資
- お客様側でレガシーシステムをすべて管理
- 自社IT要員の増強が困難

マネージドサービス(運用自動化含む)

- 運用自動化により個別運用範囲の削減
- 省力化により新たなコア業務領域の獲得
- お客様においても管理範囲を削減できる



3. 仮称) DataDog監視サービス

その第一弾として、「Datadog」による監視サービスをご提供予定です。

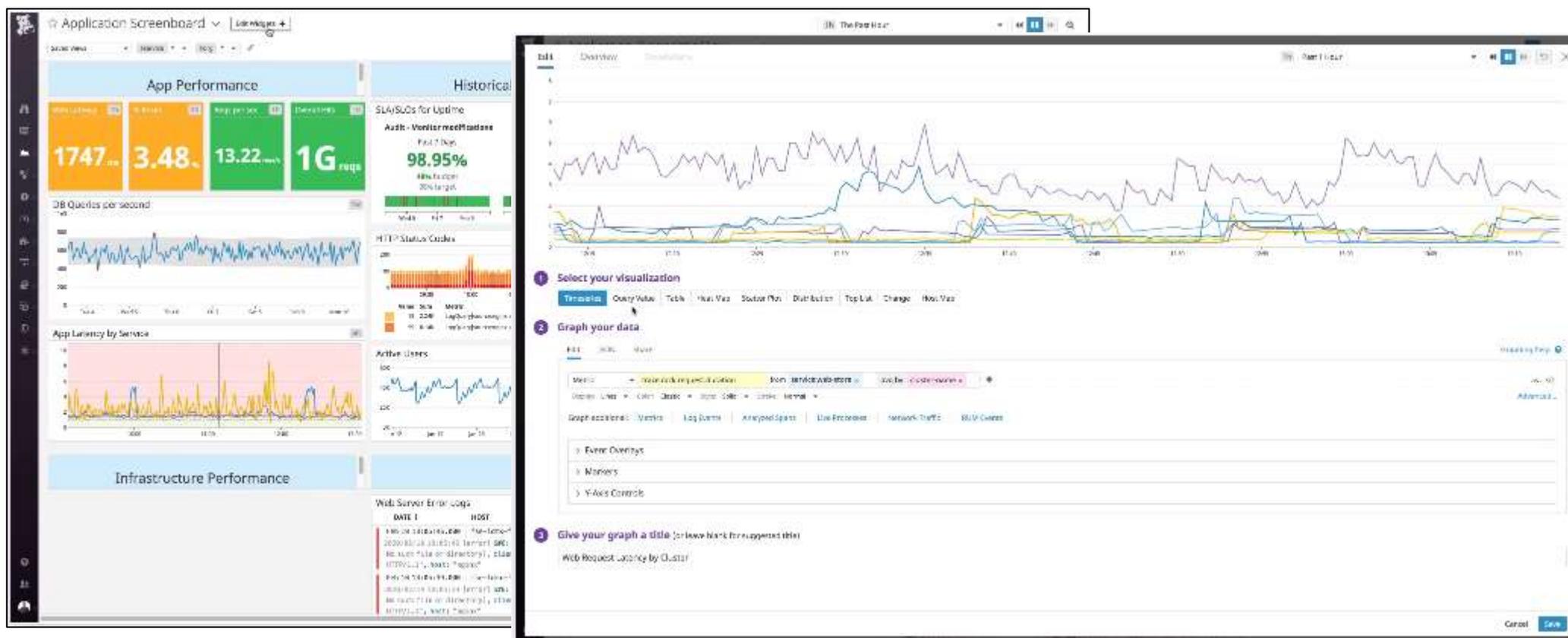
2021年度3Q
リリース予定

✓ 「S-Cred+プラットフォーム」でも採用している監視ツールである「USiZEシェアードモデルとしてご提供できるように準備中です。



」による監視サービスを

- クラウド利用時において実績多数のSaaS型監視サービス基盤
- カバー範囲の広い監視(APM,NPM,etc)を提供 ※初期リリースではOS監視のみ提供予定
- 可視性の高いインタラクティブなダッシュボードを提供



4. セルフ運用機能アップデート状況 沿革① (～2020.10)

USiZEポータルは、USiZEシェアードモデルのご利用者様向けに提供するWebポータルです。

- **2018年 USiZEシェアードモデルのご利用状況を表示するUSiZEポータル提供開始、お客様で常時参照可能に**
 - ダッシュボード (CPU・メモリ、ディスク使用状況、各種チャート)
 - 利用サービス・契約情報、構成情報(仮想マシン・クラスタ・物理ホスト・ネットワーク等) の表示
- **2019年 各種依頼の受付をメールベースからWebへ移行、セルフ運用機能提供開始**
 - USiZEポータルから各依頼の提出が可能となる依頼Web機能
 - 仮想マシン起動・停止機能
- **2020年 セルフ運用機能の拡充・API提供開始**
 - 仮想マシン作成・スペック変更・削除
 - バックアップジョブ作成・変更・削除、バックアップデータ管理、バックアップリストア
 - 仮想マシン無停止変更 (ディスク追加・拡張、IOPS制限変更)
 - API提供 (仮想マシン起動・停止/バックアップ取得/仮想マシン情報取得/バックアップジョブ状況確認)



4. セルフ運用機能アップデート状況 沿革② (2020.10～)

USiZEポータルは、お客様へよりよい価値を提供するため、機能強化・拡充を進めています。

- **2020年 セルフ運用機能・API機能のさらなる拡充**
 - 11月 ゲストOS(Linux)設定機能 (管理者パスワード・複数ネットワーク・パーティション設定)
 - 12月 API機能追加 (仮想マシンの再起動・強制停止)
 - 12月 USiZEシェアードモデル (2G) → USiZEシェアードモデル (3G) への移行機能
- **2021年 セルフ運用機能・API機能のさらなる拡充**
 - 2月 API機能追加 (バックアップジョブ作成、バックアップ有効化、仮想ディスク情報取得、バックアップデータ取得、バックアップジョブ情報取得)
 - 2月 VMwareToolsアップグレード機能



ホスト名	仮想マシン名	状態	アップグレード	VMwareTools状況
ACI-TEST-061	msk-aci-011110061	起動	アップグレード	アップグレード中
ACI-TEST-062	msk-aci-011110062	起動	アップグレード	アップグレード中
ACI-TEST-063	msk-aci-011110063	起動	アップグレード	アップグレード中
ACI-TEST-064	msk-aci-011110064	起動	アップグレード	アップグレード中
ACI-TEST-065	msk-aci-011110065	起動	アップグレード	アップグレード中
msk-01	msk-010001	起動	アップグレード	停止
msk-02	msk-020002	起動	アップグレード	停止
msk-03	msk-030003	起動	アップグレード	アップグレード中
msk-04	msk-040004	起動	アップグレード	停止

ディスク名	アップグレード前(GB)	アップグレード後(GB)	パーティション	容量	フォーマット	注
Hard disk 1	48	48	102	2000	固定容量	注意事項参照
Hard disk 2	0	18	102	2300	増設	増設

システム間連携やお客様の運用自動化推進、工数削減へ寄与するAPI機能をご提供します。

• API機能概要

USiZEポータルでご提供しているセルフ運用機能を外部から実行するためのAPIです。

2021年5月現在、下記機能を提供しています。

- 操作系API

- 電源操作関連
 - 仮想マシンの起動、再起動、停止、強制停止
- バックアップ関連
 - バックアップジョブ作成、バックアップ有効化、バックアップ取得

- 情報取得系API

- 仮想マシン情報
 - 仮想マシン情報取得、仮想マシンディスク情報取得
- バックアップ関連情報
 - バックアップデータ情報取得、バックアップジョブ情報取得
- セルフ運用機能の実行状況
 - バックアップジョブ状況確認

※USiZEポータル上には、API仕様や利用ガイド、API実装サンプルを掲載してあります※

4. セルフ運用機能アップデート状況 2G→3G移行機能①

USiZEシェアードモデル(2G)→USiZEシェアードモデル(3G)への移行機能をご提供します。

- セルフ運用機能やAPI機能は、**USiZEシェアードモデル(3G)** をご利用中のお客様に対してご提供しています。
- ただ、現在**USiZEシェアードモデル(2G)**をご利用中のお客様でも**同機能のメリット**を享受いただくことを目的として**USiZEシェアードモデル(2G)→USiZEシェアードモデル(3G)**への**スムーズな移行**を実現する機能をご提供します。

<手順概要>

- 3Gテナント開設
- USiZEポータルへログインし、仮想マシンの『移行状況』をプルダウンから選択して変更（1クリックするだけ★）
- USiZEシェアードモデル担当者にて移行準備実施（3Gの環境作成等）後、移行状況が『移行準備完了』へ変更
- USiZEポータルへログインし、仮想マシンの『クラスタ移行』ボタンを1クリックするだけ★
（実績ベースで、1～2分ほどで完了します）
- USiZEポータル画面上にて移行先での操作ロールに切り替えると、対象仮想マシンが表示され、電源操作やバックアップジョブ作成等のセルフ運用機能をすぐに利用可能

仮想マシン3G移行

戻る 検索 リフレッシュ タスク状況詳細

画面は自動更新されません。適宜リフレッシュを押して画面を更新してください。

仮想マシン

ホスト名(部分一致) 仮想マシン名(部分一致) 稼働状況

移行ステータス 備考(部分一致)

ホスト名	仮想マシン名	移行状況	移行状況(変更)	稼働状況	備考
lbrabbit01	mc-lbrabbit01	クラスタ移行 未計画	移行状況変更 <input type="text"/>	停止	シャットダウン ZABBIXテストサーバ
mc-ikodemo01	mc-ikodemo01	クラスタ移行 未計画	移行状況変更 移行対象	稼働中	シャットダウン
mc-ikodemo02	mc-ikodemo02	クラスタ移行 移行対象	移行状況変更 <input type="text"/>	稼働中	シャットダウン

4. セルフ運用機能アップデート状況 2G→3G移行機能②

USiZEシェアードモデル(2G)→USiZEシェアードモデル(3G)への移行機能をご提供します。

<手順概要> (続き)

0. 3Gテナント開設
1. USiZEポータルへログインし、仮想マシンの『移行状況』をプルダウンから選択して変更（1クリックするだけ★）
2. USiZEシェアードモデル担当者にて移行準備実施（3Gの環境作成等）後、移行状況が「移行準備完了」へ変更
3. **USiZEポータルへログインし、仮想マシンの『クラスタ移行』ボタンを1クリックするだけ★**
（実績ベースで、1～2分ほどで完了します） ※画面下部の『タスク状況』欄にて進行状況を確認できます
4. USiZEポータル画面上にて移行先での操作ロールに切り替えると、対象仮想マシンが表示され、電源操作やバックアップジョブ作成等の**セルフ運用機能をすぐに利用可能**

仮想マシン3G移行

戻る 検索 リフレッシュ タスク状況詳細

画面は自動更新されません。適宜リフレッシュを押して画面を更新してください。

仮想マシン

ホスト名(部分一致) 仮想マシン名(部分一致) 稼働状況

移行ステータス 備考(部分一致)

ホスト名	仮想マシン名	移行状況	移行状況(変更法)	稼働状況	備考
lhrabbt01	mc-sabbtest	クラスタ移行 未計画	移行状況変更	停止	ZABBIXテストサーバ
mc-ko-demo01	mc-ko-demo01	クラスタ移行 未計画	移行状況変更	停止	
mc-ko-demo02	mc-ko-demo02	クラスタ移行 移行準備中	移行状況変更	停止	
mc-ko-test_migret31	mc-ko-test_migret31	クラスタ移行 移行準備完了	移行状況変更	停止	
mc-ko-test_migret49	mc-ko-test_migret49	クラスタ移行 移行準備中	移行状況変更	停止	
W7N-2J1D51E24BL	mc-ko-vm012	クラスタ移行 未計画	移行状況変更	稼働中	自動化検証サーバ(変更後)
W7N-H011H957L06	mc-sbtest_sbrv_test	クラスタ移行 未計画	移行状況変更	停止	自動化検証サーバ(XXX)

タスク状況

実行中または現在時刻より60分以内に行われたタスク状況を表示

タスクコード	タスク名	ホスト名	ステータス	メッセージ	要求時刻	開始時刻	終了時刻	開始者
T30000072827	仮想マシンの3Gクラスタ移行	mc-ko-demo03	正常終了	3Gクラスタへの移行が完了しました	2020-12-14 21:28:01	2020-12-14 21:28:04	2020-12-14 21:28:43	USiZE運営

USiZEポータルセルフ運用機能では、今後も継続的な機能強化・拡充を行ってまいります。

- **ネットワーク変更機能強化（2021年度1Qリリース予定）**
 - ネットワーク接続状態の切替機能（NICオンオフ）
 - 仮想マシン無停止変更（NIC追加・変更）機能追加
- **仮想マシンコンソール（2021年度1Qリリース予定）**
- **仮称）DataDog監視サービス（2021年度3Qリリース予定）**
 - 監視申請・設定等はWebポータルからの実施を予定
- **その他**
 - ユーザテンプレート（仮想マシンからテンプレートを作成する機能）
 - ストレージクラス変更（HDD⇔SSD）

※ 上記のリリース順序や時期は、あくまで予定になります

※ いずれも、USiZEシェアードモデル(3G)をご利用のお客様を対象にご提供する予定です

今後ともUSiZEシェアードモデルを
どうぞよろしく願っています。

SCSK

夢ある未来を、共に創る。

Thank you !

SCSK

夢ある未来を、共に創る。